

平成31年度（5月1日からは「令和」元年度）がスタートしました。昨年度に引き続き、日頃の「雑感」を綴ってまいります。ご覧いただけましたら幸いです。

All for one, and one for all. No.1

#### H31. 4. 1 「新たな時代に向かって発進！」

新年度を迎え、新体制での業務がいよいよ本格的に始動しました。開校して4年目を迎え、これまでの特色ある取組をより充実させるべく、教職員一丸となって早くから準備を進めてまいりました。

今年度は、5月からの改元に象徴されるように、新たな時代を迎える節目の年でもあります。私たち教職員も強い気概を持って、教育活動の充実に精一杯努めてまいります。保護者の皆様をはじめ、関係各位には、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、5月からの新元号「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つといった意味合いがあるそうです。本校生徒も、豊かな知性と心情を持ち、協働しながら、新たなものを創造していく人材へと成長してくれるものと確信しています。



All for one, and one for all. No.2

#### H31. 4. 8 「着任式・始業式」



春は教職員の異動の季節となります。3月に多くの同僚が本校を離れ、寂しい思いに浸っていましたが、この度新たに8名の教職員を迎え、再び活気を取り戻しはじめました。在校生に紹介した後、石井生徒会長より歓迎の挨拶がありました。一日も早く学校に慣れていただき、生徒とともに明るい環境づくりにご尽力いただきますようお願いいたします。

続く始業式では、最上・中堅年次となった在校生に、新入生の模範であって欲しいこと、校外での言動にも永嶺生としての自覚と責任を持って欲しい旨を伝えました。

日増しに成長する在校生の姿はとても頼もしく、今年度も様々な場面で大いに活躍してくれることでしょう。



All for one, and one for all. No.3

#### H31. 4. 8 「入学式」



新入生280名が、多数の皆様の祝福を浴びながら、表情を輝かせ第4回入学式に臨みました。本校のモットーは一人一人の進路を実現することにあります。この生徒たちが、3年後に本校で学んだことを誇りに思ってくれるよう、教職員一同全力でサポートしていきます。

生徒の皆さんには何事にも主体的に挑戦する勇気と新たなものを創造していくための粘り強い努力を期待しています。入学生代表の 合田 萌乃 さんの宣誓にも、これから始まる高校生活への熱い思いがこめられていました。



また、お忙しい中、祝福に駆けつけてくださいました P T A 会長 工藤 瀧也 様、同窓会会長 落合 秀樹 様、P T A 副会長 奥山 明美 様、学校評議員 利根川 一朗 様、同じく 上坂 望 様には、この場をお借りし心より厚くお礼申し上げます。

#### All for one, and one for all. No.4

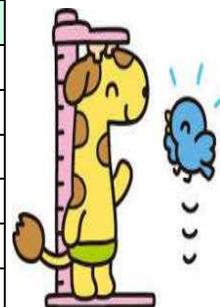
### H31. 4. 9 「結核・心電図検査」



4 月は、子どもたちの健康保持及び促進を図ることを目的に、数多くの検査、検診等を実施いたします。本日の結核・心電図検査を皮切りに、尿検査、歯科検診、身体測定、内科検診などが続きますので、ご理解とご協力の程よろしく願います。

また、個人的に配慮等を要する場合は、ご遠慮なくお申し出ください。保護者でご相談しながら対応させていただきます。

検査項目	日 程 (予定)
結核検診	4 / 9
心電図検査	4 / 9
尿検査	4 / 10 (1次)、4 / 18 (2次)、4 / 26 (3次)
歯科検診	4 / 11 (3年)、4 / 18 (2年)、4 / 25 (1年)
身体測定	4 / 12
内科検診	4 / 17



#### All for one, and one for all. No.5

### H31. 4. 9 「対面式」



生徒会主催による「対面式」が7校時に行われました。この取組は、在籍2・3年次生が新生を歓迎するために生徒自身が企画・運営を手がけた行事です。

3年次生 石井 はるか 生徒会長さんから温かな歓迎の挨拶があった後、恒例の「O×クイズ」を行いました。体を動かすうちに、それまで緊張の面持ちでいた新生の表情にも少しず

つ笑みがこぼれます。

最後は、新生代表の 内山 皓心君が、充実した高校生活に向け抱負を語ってくれました。新生の皆さんが一日も早く校風に慣れ親しみ、先輩とともに永嶺高校をさらに発展させてくれることを願います。



All for one, and one for all. No.6

### \*エイリョウ・アラカルト 「打楽器アンサンブル全国出場！」

7日に埼玉県和光市で開催された「ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会」で、見事3年連続の「最優秀賞」を獲得しました。

メンバー7人中4人が初心者ということもありましたが、完璧な演奏に仕上げたの価値ある受賞に心から拍手を贈りたいと思います。

また、NHK朝ドラ「まんぷく」の主題歌「あなたとトゥラッタッタ」ブラスバンドコンテストに挑戦したところ、なんとこちらも「最優秀賞」に輝き、嬉しいW受賞となりました。



All for one, and one for all. No.7

### H31. 4. 9 「Welcome Concert」

吹奏楽局による恒例の「ウエルカム コンサート」が、お昼休みに1階生徒ホールを会場に行われました。迫力満点の演奏に、新入生を中心とした大観衆も度肝を抜かれたことでしょう。新たに着任された教職員もすっかり魅了されていたようです。



ところで、部活動の中には「局」と呼ばれる活動があり、本校にも、吹奏楽局、放送局、新聞局があります。部独自の活動ももちろん行いますが、併行して、様々な教育活動に深く関わってくれる機関を特に「局」と呼んでいます。

吹奏楽局も、入学式や卒業式、各集会、講演時、学校説明会等々、多くの場面で活躍してくれています。本当に「感謝！感謝！」です。

All for one, and one for all. No.8

### H31. 4. 9 「生徒会オリエンテーション」

生徒会主催のオリエンテーションが5～6校時に行われました。生徒会執行部の活動内容、生徒の自主性が伝統や校風に深く関わること、高校生活を充実させるための秘訣、本校の部活動紹介（実演つき）等、義務教育とは異なる内容を理解してもらうための生徒会行事です。是非、自分のプラスになる生活スタイルを見つけてください。



高校は、「何事にも挑戦し」「視野を広げ」「人間性を高める」場です。自分で考え、自分で課題を解決し、自分で創造していく機会に数多く出会えるといいですね。しばらくは見学期間ということですから、少しずつ体験してみるのも面白いかもしれません。



### All for one, and one for all. No.9

#### \*エイリョウ・アラカルト 「安心安全な朝を！」



4月はいろいろと心配なことが多い月でもあります。中でも特に留意しなければならないのが「交通事故」。登下校経路の定まっていない1年次生や自転車通学を始めたばかりの生徒など、やはり気にかかります。

始業式からの一週間、教員が生徒玄関前で声かけを行いました。遅刻ぎりぎり登校する生徒もほとんどいなく、皆明るい笑顔で挨拶を交わしてくれます。

高校にあっても「基本的な生活習慣」は大切です。新たな年次における「生活リズム」を早く身につけ、心身に無理のない「自己ペース」を確立して欲しいものです。

時間にゆとりを持ち、安全で安心できる高校生活を、今後も生徒とともに築いてまいります。



### All for one, and one for all. No.10

#### H31. 4.12 「ケータイ・スマホ安全教室」

今や私たちの生活と切り離すことのできないケータイやスマホですが、使い方を一つ間違えると大きなトラブルに巻き込まれる危険性も併せ持ちます。



アプリには利便性があり、瞬時に情報を得たり、通信をしたり、買い物をしたりと様々な場面で私たちの生活をサポートしてくれます。危険やリスクを避け、この利便性だけを楽しむためには、どのようなことに注意したらよいかのか、それを学ぶのがこの安全教室です。

今回は、札幌から専門のインストラクターにお越しいただき、パワーポイントを併用しながら、

身近に起こりうる出来事や留意点について詳しくご説明をいただきました。

5G、ビッグデータ、society5.0、Iot、AIなど、日進月歩で便利な世の中へと推移しています。人としての教養やモラルが試される複雑な時代の到来とも言えます。

All for one, and one for all. No.11

### \*エイリョウ・アラカルト 「文武両道！」

部活動紹介が解禁となり、昼休みや放課後を使い、説明会や見学会を行っている部活動が目立ちます。本校では、例年8割近い生徒が何らかの部活動に加入しています。中学から続けてきた技能をさらに磨くもよし、新たな分野に挑戦し潜在能力を試すもよし、興味関心から選ぶもよし、視野を広げるためにやるのもよし、それぞれが異なる目的を持ち加入しているようです。

ただ忘れてならないのは、あくまで本分は学習であるということです。学習と部活動の時間のバランスをしっかりと保ちながら、充実した生活スタイルになるよう心がけましょう。学習と部活動が上向きに相乗効果を生み出すことが最善です。

偏りのない本来の文武両道を貫いてこそ、進路目標の実現につながります。



All for one, and one for all. No.12

### H31. 4.12 「海外研修帰国報告会」

旭川市観光スポーツ交流部が主催する「平成30年度旭川市・水原市青少年交流事業に係る青少年交流事業訪問団の帰国報告会」が、フィール旭川で開催されました。



本校は開校以来、グローバル教育に特に力を入れており、当研修にも毎年数名の生徒が参加をさせていただいています。

今回は2年次生 佐藤 虹樺さんが参加し、4泊5日の研修を無事終えてきました。異文化に直に触れ視野を広げることは、これからの社会を生きる上で極めて重要な資質となります。

既にアジア圏では、多くの海外中高生が日本の文化を学びに来日しています（驚くほど日本語が上手です）。

今後も関係機関と連携を図りながら、短期派遣研修の機会を数多く提供していきますので、是非多くの生徒に経験してもらいたいと思います。



All for one, and one for all. No.13

### H31. 4.15 「スタディーサポート」

新入生にとって初めてのテストとなる「スタディーサポート」を実施しました。このテストは、一般の定期考査とは異なり、個々が「現在の学力の状態や学習習慣をチェック」するものです。そこには希望の進路を叶えるために、今何をすべきかを明確にすることで、今後の学習計画に役立てるといふねらいがあります。



現在までの学習内容がどれくらい身についているか、理解できていなかった事は何か、最優先にやるべきことは・・・などを知ることは、今後の高校生活をスタートさせる上で際めて重要です。貴重な時間を無駄にしないためにも、自分自身の「今」をしっかりと把握し、未来に向かって良いスタートをきりましょう！

All for one, and one for all. No.14

#### \*エイリョウ・アラカルト 「各種模擬試験、各種検定試験」

13日(土)に、今年度最初の「公務員模擬試験」を実施しました。本校では週末を活用し、「進学向け模擬試験」をはじめ、個々の進路希望に合わせた「看護」模擬試験、「公務員」模擬試験も実施しています。早くから専門的な設問に慣れておくと、本番で慌てることはありません。



また、英語検定試験や漢字検定試験なども定期的に実施しています。担当の先生方が事前対策に力を入れていることもあって、年々受験者が増えてきています。

挑戦する意欲や合格するための努力は、最終的には必ず自信に繋がります。同時に、精神的強さも身につけていきます。結果を恐れて見送るのではなく、早い時期から自己の弱点を知り克服する過程こそが、進路希望実現には不可欠なのです。

All for one, and one for all. No.15

#### H31. 4.16 「交通安全集会」



春先、一番の気がかりは交通事故です。前身の旭川凌雲時代には痛ましい事故があり、関係者全員が深い悲しみに包まれました。二度と尊い命が奪われることのないよう、毎年「交通安全集会」を開き、生徒の危機管理意識の啓発を行っています。

旭川東警察署の 大根 尚之様と 梶沼 崇芳様のお二方から、交通事故の恐ろしさや交通事故に遇わないための心構え等についてご講話をいただいた後、かつて事故に遭われた先輩への追悼と故人を偲ぶ楽曲が演奏されました。



最後に、生徒常任委員長が「交通安全宣言」を読み上げ、日頃から安全を心がけることを誓いました。

All for one, and one for all. No.16

#### \*エイリョウ・アラカルト 「ALT」

今年度、ALT (Assistant Language Teacher) として来ていただくことになっているジャマイカ出身のベーカー・サシャーナ先生が、19日に初来校されました。とても明るく、爽やかなお人柄の先生です。来日して半年ほどしか経っていないというのに、日本語での挨拶がとてもお上手で驚きます。また、あの陸上界のスーパースター、ウサイン・ボルト選手とも対面でお話されたことがあると伺い、またまた驚き！



母国語の他に英語が堪能で、聞くところによるとジャマイカでは国民の約7割が英語を話されるとのことです。早速ネイティブな発音で授業を行っていただきました。本校の英語教諭とTT（チーム・ティーチング：複数の教師が協力して授業を行う指導方法）形態で、英会話をやりとりする中で、生徒は実践的な英語を身につけていきます。

**All for one, and one for all. No.17**

#### H31. 4.20 「授業参観」

全てのクラスで、保護者対象の「授業参観」を実施しました。多くの機会にお子様の様子を直に見ていただきたく、公開授業や学校行事の際には、できる限り保護者向けの案内もさせていただいています。

この日はPTA総会の開催に合わせ土曜日の実施ということもあり、沢山の皆様にお越しいただきました。自然クラスでの授業、習熟度・少人数形態での授業、選択クラスでの授業、また高校ならではの学習内容と、中学校とは異なる雰囲気を感じていただけたのではないのでしょうか。



またロビーには、芸術に関わる文化部の生徒が作品を展示してくれました。全道・全国出場を決めた作品もあり、心を和ませてくれる空間であったことと思います。

生徒の諸活動はなかなか直に見る機会がないと思います。時間が叶いましたら、是非学校に足を運んでいただき、お子様の成長をご覧くださいますようお願いいたします。

**All for one, and one for all. No.18**

#### H31. 4.20 「PTA総会」

100名程の保護者の皆様にお集まりいただき、新年度PTA総会が開催されました。工藤 瀧也PTA会長様のご挨拶に続き、平成30年度の諸報告及び平成31年度の諸計画等について、説明や話し合いが行われました。

各種委員会活動では、昨年度の反省への対応も含め、今後のPTA活動のさらなる活性化を皆で確認しました。

また、外局の物品購入基金の検討や学校における働き方改革に伴う活動支援などについても、今後検討していただけることになり、大変有り難いことと感謝しています。





役員改選では、1年次からも多くの方々に加わっていただき、いよいよ新体制がスタートすることになります。

工藤 瀧也PTA会長様には昨年度に続き、ご尽力いただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

また、この度ご退任される副会長の貝谷 則明様、監事の別府 智子様、会計の新関 広美様には、これまで本当に心強いお力添えをいただきました。心より厚くお礼申し上げます。

全ての教育活動において、保護者の皆様のご理解やご支援は不可欠です。今後ともより良い学校づくりにご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

**All for one, and one for all. No.19**

### H31. 4.20 「永嶺を語る会」

PTA総会と併行し、生徒会執行部と各クラス代議員による集会が同時時間帯に開かれていました。この集会は、生徒が主体となり開催しているもので、今後の永嶺高校のあり方について各年次、各クラスの代表が集い話し合いがなされます。



この日は、主に学校祭（永嶺祭）の内容について意見交換がなされたとのことでした。生徒自身が考え、協力し合い、課題を解決しながら、学校づくりに参加することは社会性を身につけていく上で際めて重要な取組です。経験を重ね、まとまった意見が様々な活動に反映していけると良いと思います。

**All for one, and one for all. No.20**

### \*エイリョウ・アラカルト 「図書館による特別企画」

図書館より「図書だより」（第1号）が発行されました。中でも特に注目すべきは、新企画「永嶺生のための企画展示（職業紹介）」なる記事です。ITやAIの目覚ましい進歩により職業・職場にも大きな変化の波が押し寄せています。

そんな中、「自分にあった職業は一体何なのか」を考える手立てとして、近刊の「なるにはブックス」を大々的に展示し、連休も含め、日々の読書活動や進路に生かしてもらおうという企画とのことでした。連休前だけあって、実にタイムリーで素晴らしい取組です！

図書館員や図書委員が中心となり、約1ヶ月にわたって展示・貸し出しを行うそうです。是非この機会に、将来を真剣に考えてみてはどうでしょう。



All for one, and one for all. No.21

H31. 4. 22・24 「自転車点検」

二日間にわたり、自転車点検を行いました。例年「交通安全教室」で事故防止についての集会を開いていますが、それでも自転車による接触事故が絶えません。主な原因の一つとして、「～ながら運転」があります。イヤホンで音楽を聴きながら、スマホでラインを見ながらなど、ちょっとした不注意が大きな事故を引き起こします。



また、自転車は車両扱いですから、逆に歩行者に怪我をさせたりすると多額な損害賠償を請求されます。

この自転車点検では、ライト・反射板・ブレーキ・施錠・ベルなど、自転車そのものに不備はないかを生徒とともに点検します。「大切な命です！尊い命です！」交通事故を防ぐのに、これで十分なんてことは決してありません。一人一人が安全運転を心がけられることを切に願います。

All for one, and one for all. No.22

\*エイリョウ・アラカルト 「旭川永嶺高新聞（第17号）」

永嶺高校開校以来、17号目を数える「旭川永嶺高新聞」が過日発行されました。本校の新聞局が、生徒自身の視点から様々な話題をタイムリーに提供してくれます。記事、情報収集、レイアウト、印刷等すべてが手作りで、実に新聞らしい新聞です。

現在、部員は4名と聞いていますが、新入生にも是非興味を持って欲しいと思います。活字と触れる機会を持つことは、視野を広げ、豊かな知性に繋がっていきます。

また、放送局の面々は、朝の登校時間に合わせて校内にクラシック音楽を流してくれます。ゆったりとした穏やかな調べは心をととても和やかにしてくれます。さらに、吹奏楽局の皆さんが、始業時前に廊下と階段清掃を自主的に行ってくれるなど、毎日がとても爽やかに穏やかな雰囲気が始まっていきます。



All for one, and one for all. No.23

\*エイリョウ・アラカルト 「体育系部活動の大会がスタート！」

いよいよ明日から10連休が始まります。生徒の皆さんには交通事故やSNSに係るトラブル等に巻き込まれないよう、学校では日々注意を喚起してきました。また、この連休を有意義に過ごすため、各年次で学習課題も用意しました。

具体的な内容は、ホームページの各種通信フォルダに掲載していますので、ご家庭におかれましてもご確認の上、学校と情報を共有していただくようお願いいたします。

休み明けには、野球をはじめ体育系部活動の大会が目白押しです。時間が許しますなら、応援を兼ね、子どもたちの日頃の練習の成果を直に見ていただきたいと思います。逞しく成長した姿が必ず見られるものと確信しています。